

6月26日・27日の本会議で増永議員、安藤議員、野口議員が一般質問を行いました。

増永わき議員

PFOAの健康被害・地域への企業責任について

問 PFOAの粉塵作業に関わっていたダイキン工業の労働者ら5人の血液から超高濃度PFOA検出。その内3人が間質性肺疾患との論文が発表された。市の見解を問う。

答 **保健福祉部長** 間質性肺疾患は煙草等も原因となる。

問 煙草等による発症率はいくらか。

答 **保健福祉部長** 10万人に1人。

問 6月1日味生公民館で一津屋地域の住民62人が血液検査。41人が高濃度だった。水俣病では行政の不作为が問われたが、市の責任で血液検査を実施すべきではないか。

答 **保健福祉部長** 市として独自の検査の予定はない。

子育て支援の充実について



問 一時預かり専用の保育施設設置を求める請願が提出されたが、市の見解を問う。

答 **「こども家庭部長」** 先進事例を研究し、本市でどのようなことが可能か検討する。

問 4年生保育が未実施の学童保育の整備計画を問う。

答 **「こども家庭部長」** 摂津小、別府小は令和8年度、千里丘小は10年度目標で進める。

増永議員のその他の質問項目

- ◎ 酷暑対策としてのエアコン設置や電気代補助について
- ◎ 南別府町新幹線高架下の歩道の舗装について

安藤かおる議員

地域公共交通計画の具体化について

問 セッピー号等の運行形態の見直し検討において市民の意見を聞く取組を問う。

答 **建設部長** 移動実態やニーズなど市民意見を聴取する。

問 バス停の上屋復元やベンチ設置など環境改善を問う。

答 **建設部長** 本計画にバス待ち環境の確保・改善の施策を位置付けた。

鳥飼小学校・鳥飼東小学校



統合等について

問 市長、教育長に提出された鳥飼東小学校PTAの意見書について問う。

答 **教育総務部長** スクールバスの運用、統合校決定プロセス、情報の周知方法の見直し、安全対策強化、統合後の学校環境整備など意見だけでなく提案も含んだ内容。関係各課で情報共有し、検討を進めていく。

問 現在、教職員の欠員問題が深刻だが、統合後の新しい学校では、十分な教職員配置が必要である。見解を問う。

答 **教育総務部長** 教員や事務職員の加配配置を大阪府教育委員会に要求するとともに、児童の学校生活をサポートする会計年度任用職員の配置を検討していく。

安藤議員のその他の質問項目

- ◎ 加齢性難聴者補聴器購入費助成について
- ◎ 淀川堤防道路等生活道路の管理と安全対策について

野口ひろし議員

市民のくらしを守る財政運営について



問 摂津市は今回2回目の

財政健全化プラン策定に向け「適正化」ということで公共料金を値上げする計画です。27年前の第1回目の時と比較すると、市の借金は半分以上に減少し、市の貯金は1・28倍ある。また今でも大阪府内トップクラスの財政力を持っている。物価高騰から市民の暮らしを守るために、公共料金の安易な値上げはやめるべきではないか。

答 **総務部長** 財政の健全性を保ち市民の生活を守っていくためには、歳出抑制や歳入確保を図り、持続可能な財政運営を進める必要がある。

太中浄水場とガランド水路のPFOA汚染の実態調査について

問 太中浄水場の1本の井戸が閉鎖され、ダイキン工業排出の高濃度のPFOA汚染処理水が長年ガランド水路に流れ蓄積されている。市民は不安を感じている。実態調査をすべきでは。

答 **上下水道部長** 太中浄水場の水道水の測定値は11ng/l、安威川や大正川での測定値はそれぞれ28・25ng/lで、いずれも50ng/l以下である。

野口議員のその他の質問項目

- ◎ 戦後・被爆80年の核廃絶、平和の取り組みについて
- ◎ 大正川橋東詰交差点の付近の安全対策について
- ◎ 香露園1号線への大型車規制について

日本共産党市会速報

NO.262

2025年 7月 10日
発行 日本共産党摂津市会議員団
☎ 06(6383) 1111
072(6383) 0007
内線 (3335) 3336
メール info@setsu.jp-web.net

第2回定例会(市議会任期最後の議会)終わる!

市民から寄せられた2件の請願、全会賛成で採択される!



6月12日から27日の会期で摂津市議会第2回定例会が行われました。

市長から提案のあった13件の議案と報告案件6件、他に市民から寄せられた請願2件と議会議案8件の審議を行いました。

日本共産党議員団は、今議会に市民から寄せられた請願「市の一時預かり保育施設設置を求める請願」「健都イノベーショナルパーク(摂津市域)における中学校給食センター整備に反対する決議書の採択を求める請願」について、委員会で積極的に賛成の立場で意見を述べ、全会賛成での採択を後押ししました。

また、出された議案のほぼ全てに賛成をしましたが、維新の会提出の議員定数削減条例案に関しては安藤かおる議員が左記の反対討論を述べ、提出者の大阪維新の会を除く全ての議員が反対し否決となりました。

この6月議会は、9月の市会議員選挙

直前で、現在の議員任期では最後の定例会でもあり、一般質問では「議長(三好)」「副議長(香川)」「監査委員(ひろ)」の三役を除くすべての議員が質問に立ちました。この一般質問では、これまで議会運営委員会で様々な議会機能の改善などを協議する中で、今回からパネルを使った補助資料を映像画面に映し出すことができるようになっていきます。

日本共産党議員団からは、増永わき、安藤かおる、野口ひろしが質問に立ち、「住民が主人公」「市民のいのちと暮らしを守る摂津市政を」と奮闘。

野口議員は、一般質問の最後に議員生活44年の締めくくりのあいさつを述べ、議場の他会派議員や理事者、傍聴席から満場の拍手が沸き起こりました。

(※本会議の様子は、市議会ホームページで録画映像の配信もおこなっていますのでご覧ください。)



日本共産党議員団が提案した3件の意見書が全会一致で可決!

- ◎ 米の価格高騰をおさえ安定供給を保証することを求める意見書
- ◎ オンラインカジノ対策の強化を求める意見書
- ◎ 社会インフラの老朽化対策のさらなる推進を求める意見書

他にも「消費税の減税及び必要な財源確保を求める意見書(案)」を提案していましたが、6/24の議会運営委員会で協議の結果、反対する会派はなかったものの提案者少数のため、残念ながら議会議案として上げること叶わず。

大阪維新の会提出の

「市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定(案)」に対する反対討論

日本共産党議員団を代表して、議会議案第4号に対し、反対討論を行います。

本議案は、議員定数を現行 19 名から1名減の 18 名にするというものです。これは、4年前の第2回定例会最終日に否決された条例案と同じ内容のものです。

この間、摂津市議会では、議会運営委員会を中心にさまざまな議会改革や議会運営についての議論を各会派の合意のもと行い改革を進めてきました。

提案者は、この4年間、一度も議会内で議員定数削減を提起することもなく、突如、9月の市議会議員選挙直前の本議会最終日になって提案されることに強い違和感を感じます。本当に定数削減を主張されるのであれば、この4年間、議会全体での調査研究、議論をよびかける提起をすべきではなかったでしょうか。

コロナ以降の社会変容、異常な物価高、市民生活の多様化など市民生活や行政への期待は複雑に多様化しているなか、さまざまな議案審議や提言を行なっていく上で現行 19 名はぎりぎりのラインです。

また、議員定数の削減は、女性や若者など幅広い市民の市政参画の機会をも狭めるものです。今、必要なことは、議員定数の削減ではなく、二元代表制の一翼を担うべく、多様な市民の立場で市政をチェックし、市政に反映させる議会機能の強化であることを申し上げ、反対討論といたします。

増永
わき



別府 2-22-22
Tel.090-9254-7643

ひろ
豊



千里丘東 5-11-6-302
Tel.090-3976-5963

安藤
かおる



鳥飼野々 3-24-3
Tel.090-1919-3951

野口
ひろし



昭和園 8-11-108
Tel.090-7095-4929